

学校概要

|                      |          |            |                     |              |
|----------------------|----------|------------|---------------------|--------------|
| 創立 49 周年             | 学校長 倉方 治 | 副校長 佐々木 和美 | 学期 2 学期制            | 児童・生徒数 600 人 |
| 学級数 一般級： 18 個別支援級： 4 |          |            | 主な関係校： 上飯田中学校 中和中学校 |              |

学校教育目標

挑戦 夢 ふれあい まちにひかる上小キッズ  
 【知】自分のよさや可能性に気づき、自らの意思で行動できる子を育てます。(夢・挑戦)  
 【徳】感動する心を大切にし、自分の将来に夢をもち、より豊かに生きようとする子を育てます。(夢)  
 【体】自分や人の生命を大切にし、健康でたくましい体をつくろうとする子を育てます。(挑戦)  
 【公】地域社会の中で自分と人のかかわりを見つめ、共に生きようとする子を育てます。(ふれあい)  
 【開】国際人として、多様性を理解し、行動できる子を育てます。(ふれあい・挑戦)

学校の特色

- 藤沢市、大和市に隣接し、緑が多く田んぼや神社があり、昔ながらの落ち着いた環境に新しい家が建ち始めている。
- 素直で明るく進んであいさつをする子どもが多い。各教科の力が市の平均に近づきつつある。
- 地域の方々はとても協力的で、学援隊を組織して、子どもたちの見守りを積極的に行う。
- 学習への意識が薄く、学習内容をすぐに理解することは難しい。何度も根気強く始動することで学習が身につけてきている。自ら新しいものへ挑戦し、自分の力だけで判断することには課題が残る。
- 教員経験年数が10年未満の職員が48%もあり、若手教員の教師力を高めることが必要である。

学校経営中期取組目標

- ◆ 基礎・基本の定着や個に応じた指導を充実させ、できる喜び、わかる楽しさを味わい、学力の向上を図ります。
- ◆ 子ども一人ひとりが自分らしく生き生きと生活できる学級・学校となるよう、居場所づくり・仲間づくりを進めます。
- ◆ 地域の人に学び、働くことへの見方を深める出会いや体験を推進し、子どもの夢育てを支援します。
- ◆ 心と体の健康づくりに関心をもち、望ましい生活習慣を身につける取組を進めます。
- ◆ 気持ちのそろった教職員集団による学校運営組織を確立します。

小中一貫教育の取組

|             |   |                          |
|-------------|---|--------------------------|
| 上飯田中学校      | ブロック  | 上飯田小学校 飯田北いちょう小学校 上飯田中学校 |
| 9年間で育てる子ども像 | ○進んでコミュニケーションをとることで、相手の気持ちを思いやり、自己実現を図ろうとする児童・生徒<br>上飯田地区における評価観の共有化～言語活動のさらなる充実を目指して～  |                          |
| 自校の具体的取組    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の共通理解を図り、課題を共有して、小中学校9年間を見通したカリキュラムづくりを検討していく。</li> <li>・小中での授業交流会や児童生徒交流日、文化祭見学等の多くの交流を通して、子どもたちが安心して中学校に進学できるようにする。</li> <li>・人権教育推進地域校として、地域と共につくる多文化共生教育の推進を行う。</li> </ul> |                          |

| 重点取組分野    | 取組目標  | 具体的取組  |
|-----------|---|--|
| 確かな学力     | 「授業がわかり楽しい」と言う子どもを増やす取組を行うとともに、言語活動の充実や読書活動の推進の取組を行う。       | ①重点研究やメンター研究を中心に教師の授業力の向上を図る。②「学習スタンダード」を意識した授業展開を図るとともに、少人数指導を行い、「個に応じた指導」を充実させる。③学校司書、司書教諭、図書委員会の活動により、学校図書館の利用促進を図り、読書活動を充実させる。                                       |
| 豊かな心      | 人権教育を基盤とし、自尊感情の育成を図り、いじめ、不登校等への組織的対応と未然防止、早期解決を図る。          | ①横浜プログラムの研究を重ね、アセスメントシートを基に子ども理解に役立て、よりよい人間関係を構築し、それぞれの学級経営にいかしていく。②道徳の時間を充実させ、心の耕しを行う。③人権週間の取組を充実させる。④特設音楽クラブでの練習、発表会や音楽集会、上飯田ハーモニー(全校での音楽会)を通して、音楽を愛するや豊かな心の育成を図る。     |
| 健やかな体     | 体育・健康プランに基づく体育学習やのびのびタイムなどの充実を図り、体力の向上をや運動習慣づくりをする。         | ①運動会、水泳大会、なわとび大会を実施したり、特設陸上クラブで活動したりして、全校による体力向上の取組を進める。②昼休みを長くして遊ばせたり、PTAがの協力のもと「いきいきキッズ」という中休みの遊び方を充実させたりして、一人ひとりの目標に合わせた体力づくりを行う。③養護教諭や栄養士と連携しながら、健康や食育に関する取組を行う。     |
| 特別支援教育    | 交流級を含む一般級と個別支援学級の連絡を密にする。合理的な配慮に対する職員の理解を進める。               | ①いいパン給と個別支援級の連携強化に向けて、合同打ち合わせを積極的に行い、学年通信と個別支援学級通信の連動を図る。②療育センターや通級の職員と連携を図り、授業参観をしてもらったり、話し合いをしたりして特別支援教育の充実を図る。  |
| キャリア教育    | 自分の暮らしを支えている家族や地域の仕事を知り、働くことへの見方を深め、体験活動を行うことによって、夢育て支援をする。 | ①外部からの学習活動を積極的に取り入れ、学習にいかす。②体験活動を重視し、遠足や宿泊等に取り入れる。③教育ボランティアによる取り出し指導を充実させる。④夢をもち、挑戦しふれあう活動を学習に組み入れていく。   |
| 児童生徒指導    | 校内チーム支援体制を整え、学級崩壊防止、いじめ、不登校対策を行う。                           | ①「上飯田スタンダード」に基づき、安全でけじめのある指導を行う。②職員会議で児童指導に関する情報を共有し合い、指導の徹底を図る。③児童相談所や区役所と密に連絡を取り合い、関係機関との連携を深める。④市の指定で培った幼保小連携を継続し、推進していく。   |
| 地域連携      | 「まちにひかる上小キッズ」の学校教育目標をめざし、地域行事に積極的に参加する。                     | ①地域コーディネーターを通して学校における活動のサポーターを集い、一緒に活動してもらう。②防犯パトロール、夏祭り、各自治会の運動会等地域行事を子どもたちに知らせ、職員も参加しながら多くの子どもたちの活動を促す。③積極的に情報発信や情報提供を行う。④まちとともに歩む学校懇話会で地域の意見を吸い上げ、学校運営に反映する。          |
| 人材育成・組織運営 | 主幹教諭を中心とした組織運営をする。メンターチームによる計画的な活動を実施し、教師の力量の向上をめざす。        | ①主幹教諭を中心にした部会運営をし、多くの会議で情報交換、意見交換を充実させる。②メンターチームを活性化させ、授業研究や実践提案を通して、学習指導や生活指導の実践力を高める。③日々の不祥事の記事を職員に知らせ、人ごとにならないことと危機管理能力を高めていく。④校内研修を計画的に行い、指導力や学校に求められている教師の力量の向上を図る。 |